

[理学療法学専攻]

【著書】

- 藪中良彦 (分担翻訳) : 第3章 脳性麻痺・脳性麻痺の概略. 上杉雅之監修 : イラストでわかる小児理学療法, 41-62, 医歯薬出版株式会社, 2013.5
- 島 雅人 (分担執筆) : シンプル理学療法学シリーズ義肢装具学テキスト改訂第2版, 頸部体幹装具のチェックアウト. 117-128, 南江堂, 2013.9.

【原著論文】

- 佐々木健太郎, 小島聖, 石倉 隆 : 頸部の運動制限が呼吸機能に及ぼす影響. 保健医療学雑誌, 4(2), 32 - 36, 2013
- 佐藤秀紀 : 国際生活機能分類 (ICF) とこれからのリハビリテーション, 日本保健福祉学会誌, 19(2), 13-21, 2013. 7.
- 木村佳記, 境 隆弘, 佐藤睦美 他7名 : 等抵抗負荷の側方レッグリーチ動作における支持脚の運動解析. 臨床バイオメカニクス 第34巻 239-244頁. 2013年10月.
- 元脇周也, 境 隆弘 他6名 : 投球障害症例に対する投球フォーム指導の効果～体幹回旋運動における定量的評価を用いた検証～. スポーツ傷害第18巻 239-244頁. 2013年12月.
- 小川 卓也, 境 隆弘 他12名 : 体幹後傾テストのACL不全評価に対する有用性の検討. スポーツ傷害 第18巻 51-53頁. 2013年12月.
- 木村佳記, 小柳磨毅, 佐藤睦美, 中田研 : 関節鏡視下術後の膝引っかけり症状 エコー所見と理学療法. 整形外科リハビリテーション学会学会誌, 15:76-79, 2014.
- 大槻桂右 : 急性腰痛症患者における大腿筋膜張筋に対するダイレクト・ストレッチングの即時的効果-シングルケースデザインにて4週間継続フォロー-. 理学療法科学 28(6):779-782, 2013.
- 大槻桂右 : 肩関節拘縮に対する上腕骨解剖頸軸回旋運動の即時的効果. 理学療法科学 28(4):473-476, 2013.
- 大槻桂右 : 上腕骨解剖頸軸回旋を利用した肩関節可動域運動の有用性. 理学療法科学 28(6): 813-816, 2013.
- 大槻桂右 : 病期別の非特異的腰痛症3症例に対する大腿筋膜張筋へのダイレクト・ストレッチング中殿筋への筋力強化運動による即時的効果-シングルケースによる検討-. 理学療法科学 29(1): 81-85, 2014.
- Kiyota N, Fujiwara K: Effects of finger reaction task on event-related potentials with postural disturbance using transient backward translation. Health and Behavior Sciences, 12, 66-72, 2013.
- Maekawa M, Fujiwara K, Kiyota N, Yaguchi C: Adaptation changes in dynamic postural

control and contingent negative variation during repeated transient forward translation in the elderly. *Journal of Physiological Anthropology*, 32, 24, 2013.

- Kurokawa N, Fujiwara K, Kiyota N: Postural responses accompanying Achilles tendon vibration stimulation during various phases of sit-to-stand movement. *Perception*, 42, 778-789, 2013.
- 岡原 聡, 片岡正教, 島 雅人, 谷村広大, 下野貴之, 奥田邦晴:完全人工光型植物工場における高齢者や障がい者の就労の可能性に関する研究ー立位と坐位作業の上肢・体幹筋の活動量の変化ー. *日本職業・災害医学会誌*, 62(1), 38-43. 2014. 1.

【総説】

- 元脇周也, 境 隆弘 他 6 名:肩甲帯機能から見た肩関節インピンジメント症候群に対する運動療法ーその評価とコツー. *臨床スポーツ医学*. 第 30 巻 5 号 455-465 頁. 2013 年 5 月.
- 小柳磨毅, 境 隆弘 他 9 名:スポーツ外傷・障害に対する理学療法の効果. *整形外科最小侵襲手術ジャーナル*. 第 69 巻 35-46 頁. 2013 年 12 月.
- 藪中良彦, 近藤和泉:第 3 章脳性麻痺の評価表, 3-1-2. 粗大運動能力尺度 (GMFM), 3-1-4. 脳性まひ児の手指操作能力分類システム (MACS). 社団法人日本リハビリテーション医学会監修:脳性麻痺リハビリテーションガイドライン (第 2 版), 59-61, 64, 金原出版株式会社, 2014.1.
- 藪中良彦:子どもの姿勢と運動機能の評価. *理学療法*, 30 (10), 1084-1092, 2013.
- 藪中良彦:脳性麻痺のためのシームレス・アプローチ. *大阪府理学療法士会誌*, 42, 23-29, 2014.3

【研究報告】

- 橋田剛一, 井上 悟, 阿部和夫:筋萎縮性側索硬化症患者への装具療法. *日本義肢装具学会誌* 30(1):15-19, 2014.
- 木村佳記, 中田研, 松尾知彦, 前達雄, 米谷泰一, 小柳好生, 小笠原一生, 杉山恭二, 佐藤睦美, 内田良平:ドロップジャンプ着地によるバランス計測:ー着地直後の重心動揺軌跡解析. *スポーツ傷害*, 18:55-57, 2013.
- 藤原勝夫, 伊禮まり子, 前川真姫, 斉藤正浩, Vitaliy Lytnev, 外山 寛:健康高齢女性における身体活動量, 下腿筋力および下腿三頭筋厚の秋期から冬期への変化. *Health and Behavior Sciences*, 12(1): 13-20, 2013

【講演】

- 石倉 隆:中枢神経系理学療法の Evidence 構築のための脳機能解剖と臨床. 福井県理

学療法士会学術講演会，サンドーム福井，鯖江市，2013.12.8

- 藪中良彦：肢体不自由児に関わる学校の先生方とセラピストの連携と役割分担および動作介助のポイント．支援教育地域支援整備事業公開研修会（大阪府立箕面支援学校主催），大阪，2013.7.25
- 藪中良彦：運動発達と XP 児へのアプローチ．XP ふれっくるの会（色素性乾皮症児親の会）夏の会講演会，大阪，2013.8.10
- 藪中良彦：脳性まひの評価．認定理学療法士（発達障がい）必須研修会（公益社団法人日本理学療法士協会主催），福岡，2013.9.21
- 藪中良彦：小児理学療法 Brush-up. 第 29 回東海北陸理学療法学術大会教育セミナー（公益社団法人日本理学療法士会東海北陸ブロック理学療法士協議会主催），名古屋，2013.11.9
- 藪中良彦：小児理学療法の変遷とパラダイムシフトおよび脳性麻痺の評価．平成 26 年度小児リハ研修会講師（公益社団法人佐賀県理学療法士会主催），佐賀，2013.11.18
- 藪中良彦：歩行機能獲得の援助ー歩行の発達と BWS トレーニングー．第 10 回神経理学療法研究部会学術集会シンポジウム（2）（公益社団法人日本理学療法士協会神経理学療法研究部会主催），京都，2013.12.15
- 清田直恵，藤原勝夫：高齢者における頸部前屈姿勢でのアンチサッケードトレーニング．日本生理人類学会第 68 回大会シンポジウム「脳活動の活性化」シンポジスト，石川県金沢市，2013.6.
- 清田直恵：高齢者のアンチサッケードトレーニングにおける頸部前屈姿勢の相乗効果．日本健康行動科学会第 12 回大会ミニシンポジウム「認知機能と運動行動」シンポジスト，北海道札幌市，2013.9.

【学会発表】

- 来田晃幸，境 隆弘 他 5 名：水平面画像を用いた投球動作における体幹回旋角度の定量的評価．第 40 回日本臨床バイオメカニクス学会．2013 年 11 月．
- 今高康詞，境 隆弘 他 6 名：三平面の二次元画像を用いた投球側上肢の定量評価．第 40 回日本臨床バイオメカニクス学会．2013 年 11 月．
- 来田晃幸，境 隆弘 他 4 名：座位のシャドーピッチング指導が投球フォームに及ぼす影響．第 19 回スポーツ傷害フォーラム．2014 年 1 月．
- 加藤直樹，高木啓至，橋田剛一，井上 悟，菅本一臣：神経筋疾患患者に対するデジタルミラーを用いたバランス練習について，リハビリテーション・ケア合同研究大会 in 千葉，2013.11.22.
- 石原美智子，伊藤弘紀，藪中良彦：股関節脱臼予防目的でボツリヌス治療を行った GMFCS レベル V の脳性まひ児の変化：4 症例報告．第 48 回日本理学療法学術大会，名古屋，2013.5

- 加藤直樹, 高木啓至, 高島千敬, 橋田剛一, 佐藤睦美, 坂井孝司, 柴田雅彦: CRPS患者の関節可動域改善に関与する因子の検討. 第6回日本運動器疼痛学会, 神戸, 2013.12.7.
- 木村佳記, 米谷泰一, 前達雄, 杉山恭二, 佐藤睦美, 内田良平, 松尾知彦, 小柳好生, 小笠原一生, 中田研: 片脚ドロップジャンプ着地テストによるバランス評価～膝スポーツ外傷後の復帰評価の新提案～. 第19回スポーツ傷害フォーラム, 大阪, 2014.1.25.
- 清田直恵, 藤原勝夫, 前川真姫: 下肢および体幹をギブス固定しての一過性後方床移動時の随伴陰性変動および姿勢筋活動の適応的变化. 日本健康行動科学会第12回学術大会, 北海道札幌市, 2013.9.
- Kiyota N, Fujiwara K, Maekawa M, Irei M: .Effects of joint fixation in the leg and trunk on anticipatory postural control during bilateral shoulder flexion in the elderly. Society for Neuroscience 43th Annual Meeting, San Diego, U.S.A, 2013.11.
- 島 雅人, 山田隆人, 足立 一, 井口知也, 柳 千磨, 片岡正教, 奥田邦晴: 知的障がい者サッカー振興事業 (Friendly Action) が参加者の身体機能に及ぼす効果に関する研究. 第34回医療体育研究会/第17回日本アダプテッド・体育スポーツ学会第15回合同大会, 仙台, 2013.12.7.
- 奥田邦晴, 片岡正教, 島 雅人, 岡原 聡, 下野貴之, 河合俊次, 村上光輝: ボッチャ選手の競技力と投球距離の関係. 第34回医療体育研究会/第17回日本アダプテッド・体育スポーツ学会第15回合同大会, 仙台, 2013.12.
- Kataoka M, Okuda K, Kataoka T, Fuchioka S, Higuchi Y, Iwata A, Yonetsu R, Shima M, Okahara S: Relationship between the time of buttocks movement and trunk inclination and hip angle during car transfer in individuals with tetraplegia : 21st Annual Scientific Meeting of the Australasian Faculty of Rehabilitation Medicine. Sydney, Australia. September, 2013.
- 岡原 聡, 片岡正教, 島 雅人, 村田臣徳, 谷村広大, 上田絵美, 中村 謙, 奥田邦晴: 高齢者・障がい者の就労支援を目的とした植物工場における作業環境のユニバーサルデザイン化に関する研究. 第48回日本理学療法学術大会, 愛知県, 2013.5.
- Irei M, Fujiwara K: Weighting to visual information provided at the various floor oscillation timing while standing. Society for Neuroscience 43th Annual Meeting, San Diego, 2013.11.
- Fujiwara K, Yaguchi C, Irei M, Maekawa M: Effects of joint fixation in the leg and trunk on anticipatory postural control during bilateral shoulder flexion in the elderly. Society for Neuroscience 43th Annual Meeting, San Diego, 2013.11.
- Kiyota N, Fujiwara K, Maekawa M, Irei M: Postural control during transient floor translation while standing with the leg and trunk fixed. Society for Neuroscience 43th Annual Meeting, San Diego, 2013.11.
- 伊禮まり子, 藤原勝夫: 立位保持中に種々の床振動タイミングで提示された視覚情報

に対する重みづけ. 日本生理人類学会第 68 回大会, 金沢, 2013.6.

- 藤原勝夫, 外山 寛, 伊禮まり子, 前川真姫, 斉藤正浩, Vitaliy Lytnev: 立位姿勢改善のための腰椎前弯形成器具を用いたトレーニング. 日本生理人類学会第 68 回大会, 金沢, 2013.6.
- 藤原勝夫, 外山 寛, 伊禮まり子, 前川真姫, 斉藤正浩, Vitaliy Lytnev: 健康高齢女性における身体活動量, 下腿筋力および下腿三頭筋厚の秋期から冬期への変化. 日本健康行動科学会第 12 回学術大会, 札幌, 2013.9.

【研究助成金】

- 境 隆弘: 平成 25 年度科学研究費助成事業 (基盤(C)) 膝関節疾患に対する安全かつ有効な膝伸筋トレーニングの開発 (代表研究者)
- 藪中良彦 (分担研究者), 他 3 名: リハビリテーションにおける重症心身障害児 (者) の評価指標の確立に向けた研究. 独立行政法人日本学術振興会 基盤研究 (C)
- 清田直恵: 立位時の床傾斜による姿勢筋緊張の抑制と高齢者におけるトレーニング効果の検討. 文部科学省科学研究費補助金若手 (B) (代表者), 平成25年度, 273万
- 藤原勝夫, 清田直恵, 他 5 名: 高齢者における足関節運動に限定した動的姿勢制御に対する下腿筋力トレーニング効果. 文部科学省科学研究費補助金基盤研究 (B) (研究分担者), 平成 25 年度, 6.5 万
- 島 雅人, 榑 千磨: 平成 25 年文部科学省委託事業 度成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業, 障害者スポーツ分野における障害者医療・福祉・教育専門職の人材育成システムの開発プロジェクト 分科会 II・III 担当

【学位取得・研究業績に対する受賞】

- 清田直恵: 日本健康行動科学会第 12 回学術大会大会長優秀発表賞受賞. 「下肢および体幹をギブス固定しての一過性後方床移動時の随伴陰性変動および姿勢筋活動の適応的变化」

【教育業績】

- 藪中良彦, 岩田 篤, 榑 千磨, 他: 連携病院 (研修センター) における臨床実習指導

【社会貢献活動】

- 境 隆弘: 一般社団法人 アスリートケア 理事 (甲子園高校野球メディカルサポート事業)
- 井上 悟: 厚労省共催 理学療法士・作業療法士教員等長期講習会 運営委員ならび講師, 2013.11.11-12.7

- 井上 悟：NPO 法人 リハビリテーション支援塾・おおさか（理事）
- 井上 悟：色素性乾皮症夏の会へ指導助手として参加（講演者：当学 藪中良彦，幼少期～学齢期までの運動発達とその援助方法について），2013.8.10.
- 藪中良彦：（公社）大阪府理学療法士会学術担当理事，大阪府障がい者介護給付費等不服審査会委員，大阪市立平野特別支援学校療育相談相談員，大阪市阿倍野区発達障がい児に対する専門相談相談員.
- 佐藤睦美：一般社団法人アスリートケア 理事，関西テニス協会 医事委員，大阪府テニス協会 医事委員，日本テニス協会登録トレーナー，全日本ジュニアテニス選手権大会トレーナー，ワールドジュニアスーパーテニス トレーナー
- 大槻桂右：腰痛症のしくみとリハビリテーション. 大阪，出前講座，東住吉区老人福祉センター. 2013. 12.3
- 島 雅人：スペシャルオリンピックス日本・大阪 Motor Activities Training Program(MATP) コーチ，スポーツプログラム委員
- 島 雅人：財団法人日本障害者スポーツ協会 日本パラリンピック委員会 平成 25 年度障害者競技スポーツ医・科学・情報サポート推進事業 競技団体サポートスタッフ（動作解析）
- 島 雅人：（社）日本理学療法士協会 生活環境支援理学療法研究部会，平成 25 年度中級障がい者スポーツ指導者養成講習会講師 2014 年 2 月 20 日 大阪市舞洲障害者スポーツセンター
- 島 雅人, 榑 千磨：知的障害者サッカー振興事業 Friendly Action 運営委員

【国際交流】

- 境 隆弘：一般社団法人アスリートケア主催ワークショップ「投球障害肩・肘の評価と治療」ロサンゼルスドジャース・ヘッドトレーナー Susan Falsone 氏招聘 2013 年 11 月
- 境 隆弘：保健医療学学会 第 4 回学術集会 特別講演「米国におけるアスリート支援」(講師:ロサンゼルスドジャース・ヘッドトレーナー Susan Falsone 氏) 座長 2013 年 12 月

【その他】

- 今井公一：公立大学法人 県立広島大学 講義 「理学療法の技術を学ぶ」 25.10.
- 今井公一：大阪刑務所 医療支援 2 回/月
- 今井公一：福岡県介護老人保健施設協会リハビリ部会 筑豊ブロック研修会 講師「重度関節拘縮の臨床像とその予防方法について」 25.8.27 福岡県立 飯塚研究開発センター
- 榑 千磨：大阪刑務所 医療支援 2 回/月

【所属学会・学会認定資格・学会役員等】

- 石倉 隆：日本理学療法士協会，日本臨床神経生理学会，理学療法科学学会，日本臨床バイオメカニクス学会，日本リハビリテーション医学会，臨床歩行分析研究会，中国・四国臨床神経生理懇話会，日本神経治療学会，日本神経学会，中国四国リハビリテーション医学研究会，Movement Disorder Society, Japan，保健医療学学会（副編集委員長）
- 佐藤秀紀：日本保健福祉学会（理事），日本保健福祉学会（学術誌編集委員），日本社会福祉学会（査読委員），日本老年社会科学学会（査読委員）
- 境 隆弘：日本理学療法士協会，日本体力医学会員，日本臨床バイオメカニクス会員，保健医療学学会（役員），日本臨床スポーツ医学会会員
- 井上 悟：(公社)日本理学療法士協会・学会，(社)大阪府理学療法士会，(一社)日本義肢装具学会（評議員，学会誌編集委員），(一社)アスリートケア（監事），スポーツ傷害フォーラム，日本体力医学会，日本臨床バイオメカニクス学会，日本ペインクリニック学会，日本呼吸ケア・リハビリテーション学会，保健医療学学会（理事）
- 藪中良彦：日本理学療法士協会，日本ボバース研究会
- 佐藤睦美：日本理学療法士協会（学術集会査読者，座長），日本理学療法士協会 専門理学療法士（運動器）日本臨床バイオメカニクス学会，日本臨床スポーツ医学会，日本体力医学会，日本整形外科リハビリテーション学会
- 大槻桂右：日本理学療法士協会，日本心臓リハビリテーション学会，日本ペインクリニック学会，日本呼吸療法医学会，理学療法科学学会，臨床解剖研究会。
- 清田直恵：Society for Neuroscience，日本臨床神経生理学会，日本生理人類学会，日本健康行動科学学会，日本理学療法士協会
- 島 雅人：(公社)日本理学療法士協会，(一社)アスリートケア，日本障害者スポーツ学会，日本ボッチャ協会，日本アダプテッド体育スポーツ学会，(一社)日本職業・災害医学会
- 岩田 篤：日本理学療法士協会，日本臨床神経生理学会，日本認知リハビリテーション学会
- 牧之瀬一博：日本理学療法士協会，日本心臓リハビリテーション学会，3学会合同呼吸療法認定士，心臓リハビリテーション指導士
- 榑 千磨：日本理学療法士協会，日本物理療法学会，日本アダプテッド体育スポーツ学会，行動リハビリテーション研究会
- 伊禮まり子：Society for Neuroscience，日本生理人類学会，日本健康行動科学学会，日本理学療法士協会